

第4次日野市学校教育基本構想 「すべての“いのち”がよろこびあふれる未来をつくっていく力」の育成

【学校教育目標】

- ◎自ら考え学ぶ子 (か)んがえる子
- ◎健康でたくましい子 (つ)よい子
- ◎思いやりのある子 (やさ)しい子
- ◎めあてをもってやりぬく子 (く)じけない子

【めざす学校】 児童が活躍し、輝く学校

【キャッチフレーズ】 一人を大切に、みんなを大切に

【目指す教師像】

- ・高い指導力と優れた人権感覚をもつ教師
- ・高いコミュニケーション能力をもつ教師
- ・組織力を生かして課題を追求する教師

学校経営の3本の柱

- ①確かな学力の向上(「読み解く力」を高める授業の実施) 児童が「分かった、できた」を実感できる授業の実現に向けた授業改善
- ②豊かな心・健やかな体の育成(居場所があって安心) 「一人を大切に、みんなを大切に」を実践し、全ての児童が安心できる居場所がある環境
- ③地域との連携(活躍して自己肯定感を高める) 児童が学校行事や地域との連携の中で活躍し、自己肯定感を高めることができる教育活動

中期的な目標

◎全国学力学習状況調査(6年)、総合学力調査(5年)において、日野市平均以上を達成。

児童アンケート「自分にはいい所がある」「自分に自信がある」の項目について90%以上を達成。

令和8年度コミュニティ・スクールを発足し、地域と共に進める学校を確立。

今年度の取組

第4次日野市学校教育基本構想 『学力向上』プロジェクト

確かな学力の向上(分かった、できたを実感)

- ◎校内研究を活用し、「読み解く力」を高める授業を実施
- ◎認知機能を高める取り組みにより、学力の土台形成を図る。
- ◎「南平小スタンダード」を実践し、問題解決型の授業スタイルを実践
- ◎モジュール学習による基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ◎年間20回のOJTの実施により、指導する側、される側、双方の指導力向上を図る。

豊かな心・健やかな体の育成(居場所があって安心)

- ◎いじめ未然防止、早期発見・早期解消
 - ・年3回ふれあいアンケート、週2回生活夕会を実施
- 「南平小セブンルール」の遵守
- 不登校解消、新たな不登校を生み出さない
 - ・別室登校支援ルーム(Mルーム)運営の充実
- 持久走月間の取組
- 全学年に特別支援コーディネーターを配置
 - ・配慮を要する児童への指導を組織的に進める
- PTA・ひのちちとの連携
 - ・放課後に安心して過ごせる居場所作り

地域との連携(活躍して自己肯定感を高める)

- ◎学校コーディネーター、学校評議委員と連携した地域環境や人材を生かした体験活動
 - ・学校農園「すずかけ広場」での米作り
 - ・しきなみ短歌作り・菊教室・琴教室等
- たてわり活動の充実
 - ・高学年のリーダーシップ、下学年のお世話
- 学校行事への主体的な取組
 - ・運動会・学芸会で役割を全うし、学校や友達の役に立つ
- コミュニティ・スクール準備委員会を立ち上げ、組織作りと活動内容の明確化を図る